

2015年度事業報告

(2015年4月～2016年3月)

2015年度は、公益財団法人へ移行後4年目となる。
当該期間内に実施した事業活動は以下の通り。

1. 【外国人留学助成 (KMMFスカラシップ)】

31,230千円

外国人留学生の受け入れに優れた8大学を選考し、各校1名/年の外国人留学生助成を行う

(対象校は2014年度決定の8校と同一:東北大学、国際大学(IUJ)、筑波大学、東京大学、同志社大学
奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、九州大学)

10月2日(金)～10月29日(木)

・留学生現地面談

国籍:台湾(2名)、中国、ミャンマー、パレスチナ、インドネシア、ベトナム、スリランカ

・担当教官と大学事務局へのご挨拶

11月7日(土)～8日(日)

・KMMFスカラシップ理念研修会実施 @京都

目的:創業者の理念の理解、日本文化に触れる

KMMFスタッフ&奨学生同士の懇親

参加:2014&15年度認定奨学生 15名

内容:松下資料館にて認定式と見学

トロッコ列車乗車、保津川下り

天龍寺・竹林の小径等嵐山散策

2.【日本人留学助成（松下幸之助国際スカラシップ）】

■アジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成（18年目）

・本年度の認定者：13名（学部生2名、大学院生・教員11名）

東アジア :なし
 東南アジア :インドネシア(3名)、タイ(2名)
 南アジア :なし
 西アジア :トルコ
 アフリカ :エジプト、ガーナ、南アフリカ、レソト
 ラテンアメリカ :チリ、ブラジル、ボリビア

・累計助成者数：198名

（うち助成終了者 165名、留学先：47か国・地域）

9月18日（金） スカラシップ第1次選考委員会（書類審査）
 応募者24名から20名選考

10月3日（土） スカラシップ第2次選考委員会（面接審査）
 認定候補者14名決定

3月17日（木） 「松下幸之助国際スカラシップ」認定式
 （於：リーガロイヤルホテル大阪）
 ・認定者12名に認定証・授与と松下幸之助歴史館訪問
 ※1名は2月に現地へ出発済み、1名は辞退

■松下幸之助国際スカラシップフォーラム

10月10日（土） 第11回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催
 テーマ『まじわりの場で声をつむげ』

「正しさ」と歴史学

講師：岸本美緒氏

お茶の水女子大学 基幹研究院 教授

「成果発表」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 5名
 （フィリピン、インド、メキシコ、タイ2名）

- ・参加人数：約100名
- ・共催：フォーラム委員会
 （委員長：水口拓寿氏 武蔵大学人文学部教授 2000年度奨学生）
 松下幸之助記念財団
- ・後援：外務省

10月中旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、
 新規8名のブックレット出版（出版累計：49冊）

3.【研究助成】

22,661千円

■人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成
(27年目)

6月9日(火)～7月10日(金) 書類選考
7月22日(水) 選考委員会 (於:ホテルグランヴィア京都)

応募総数 348件、合格者数 39件

	日本人	外国人	合計
応募件数	248 (71%)	100	348
助成件数	29 (74%)	10	39

1989年～2015年

累計助成者数：1,829件

■松下正治記念学術賞 (出版助成)

本年度より応募資格を「松下幸之助国際スカラシップ」終了生、及び「研究助成」受給者に拡大

6月19日(金) 第1次選考委員会

9月11日(金) 最終選考委員会

選考結果

阿部 俊大 氏

九州大学言語文化研究院准教授

論文テーマ: 辺境から国家へ

- 12世紀イベリア半島における征服・植民と
アラゴン連合王国 -

3月17日(木) 「松下正治記念学術賞」授賞式
(於:リーガロイヤルホテル大阪)

1月25日(月) 2014年度受賞者 水口 拓寿氏
著書『儒学から見た風水』 出版
- 宋から清に至る言説史 -

4.【国際交流助成】

8,434千円

■トルコ チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科学生の日本研修を助成（19年目）

・本年度は学生6名が研修に参加（累計助成者数103名）

- 6月26日～27日 東京見学
- 6月28日～6月30日 名古屋市立大学学生との交流
- 7月1日～3日 四日市立大学 日本語・日本事情研修およびホームステイ
- 7月4日～6日 広島市内と宮島見学およびホームステイ
- 7月7日～9日 松下幸之助記念財団訪問、理事長懇談会参加
松下幸之助歴史館、パナソニックエコテクノロジーセンター等訪問
京都・奈良にて日本文化研修
- 7月10日～14日 大阪でホームステイ

■フィリピン大学ディリマン校学生の日本研修を助成（1年目）

・本年度は学生4名が研修に参加

- 8月1日～2日 京都大学 ワークショップ参加
- 8月3日～4日 京都 公立学校/介護施設訪問、市内見学
- 8月5日 パナソニックエコテクノロジー訪問、市内見学
- 8月6日 松下幸之助歴史館訪問、理事長懇談会参加、民族学博物館見学
- 8月7日 パナソニックセンター大阪及び市内見学

■ベトナム ハノイ大学日本語学部学生の日本研修を助成（1年目）

・本年度は学生6名が研修に参加

- 1月18日 大阪教育大学訪問
- 1月19日 松下幸之助歴史館訪問、理事長懇談会参加、奈良市内見学
- 1月20日 パナソニックエコテクノロジー訪問、神戸・大阪市内見学
- 1月21日 京都市内見学
- 1月22日～23日 富士山・東京都内見学
- 1月24日～25日 日本語学校訪問・授業視察

5.【自然と人間との共生のための事業(松下幸之助花の万博記念賞)】

16,464千円

「国際花と緑の博覧会」の基本理念の実現に貢献し、その目的にかなう学術的研究、およびその実践においてすぐれた成果をあげた個人、またはグループを「松下幸之助花の万博記念賞」で顕彰する事業

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2015年5月)

推薦人266名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2015年8月)

松下幸之助記念賞	18件	
松下幸之助記念奨励賞	16件	
松下正治記念賞	17件	
選考対象 合計	51件	(※ 昨年度推薦分を含む)

3) 選考委員会 (於:千里阪急ホテル)

第1回	5月21日(木)	推薦人の見直し・確認
	9月1日(火)~10月15日(木)	書類選考
第2回	10月16日(金)	第一次選考
	10月17日(土)~10月29日(木)	最終候補者詳細調査
第3回(最終)	10月30日(金)	最終選考

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

松下幸之助記念賞 河野 昭一氏 京都大学 名誉教授

(300万円) 植物生活史研究の先駆者として、我が国の種生物学の国際化に尽力し、顕著な業績をあげるとともに、多数の後進を育て、植物多様性研究に大きく貢献した功績

松下幸之助記念奨励賞 山田 敏弘氏 金沢大学 自然システム学系 准教授

(150万円) 現生植物を用いた分子発生学的手法で、絶滅種と現生種の器官の相同性を示した極めて独創的な研究により、被子植物起源の解明に大きく貢献した功績

松下正治記念賞 大井 美知男氏 信州大学 農学部 教授

(200万円) アブラナ科を中心とする野菜在来品種の来歴と品種成立の過程を明らかにして有用資源として保全・活用すると同時に在来品種の形質をもつ新品種を育成し、その普及活動を通じて中山間地農業の振興に貢献した功績

4) 贈呈式・講演会 (2016年2月6日)

リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、約250名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者3名の方々が講演を行った。

① 河野 昭一氏

テーマ:花に魅せられし60年

② 山田 敏弘氏

テーマ:化石を眺めて考える植物の生い立ち

③ 大井 美知男氏

テーマ:野菜の過去と未来の橋渡し

6. 【「自然と人間との共生」理念の普及】

3,528千円

人間が自然を尊び調和しながら生きる社会を実現する理念の普及活動及びその関連事業に対する助成

理念に合致した活動を推進する2つの団体に寄付を実施

①認定NPO法人 アースウォッチ・ジャパン （寄付金額 200万円）

環境問題について実証的な研究活動を行っている研究者の
野外調査の現場に、一般市民を環境ボランティアとして派遣
する団体
小学校の教員や科学館スタッフがボランティアとして参加される
野外調査を支援

②認定NPO法人 環境市民 （寄付金額 50万円）

地球規模の環境問題を視野に入れ、地域で実践活動を行っている。
本取り組みでは、生物多様性の理解促進のため、小学生向けの
環境教育教材の作成を支援

理事会・評議員会等の開催

<理事会>

(1) 第12回理事会

- ・開催日： 2015年5月18日(月) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数9名のうち9名、監事総数2名のうち2名が出席 オブザーバー：評議員(7名)
- ・議案： ①第1号議案「2014年度(平成26年度)事業報告案承認」の件
②第2号議案「2014年度(平成26年度)決算案承認」の件
③第3号議案「第7回(定時)評議員会招集」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2) 第13回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「保有株式の議決権行使の承認」について

・提案書の発送=2015年6月8日

・理事会の決議があったものとみなされた日=2015年6月19日

上記1議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(3) 第14回理事会

- ・開催日： 2016年3月23日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数9名のうち9名、監事総数2名のうち2名が出席
- ・議案： ①第1号議案「2016年度(平成28年度)事業計画及び予算」の件
②第2号議案「平成26年度・平成27年度剰余金の処理方法」の件
③第3号議案「各種選考委員選任」の件
④第4号議案「第8回評議員会招集」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

<評議員会>

(1)第6回評議員会

- ・開催日： 2015年5月18日(月) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 評議員総数11名のうち7名、理事出席8名、監事出席2名
- ・議案： ①第1号議案「理事1名選任」の件

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2)第7回評議員会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく評議員会の開催

②目的である事項

- ・第1号議案「2014年度(平成26年度) 事業報告案承認」の件
- ・第2号議案「2014年度(平成26年度) 決算案承認」の件
- ・提案書の発送=2015年5月18日
- ・評議員会の決議があったものとみなされた日=2015年6月12日

上記2議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

附属明細書

平成27年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施工規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。